

# 永遠の課題「これでもいいのか登別!!」に 取り組んだ32年

「新風三七歳 これでもいいのか登別!!」のキャッチフレーズでの初当選以来、八期三二年間の議員活動を今年四月で終えました。その間、「これでもいいのか登別!!」を念頭に置き、成果は別にしているいろいろな取組みをしました。それを振り返り、議会人としての活動の前提となる基本的な二項目に眼を向け提起したいと思います。

第一は、議員・議会のあるべき姿に向かう基本的な取組みについて、二元代表制における、議会と執行機関は独立・対等の関係をふまえ、議会の独自性や存在感をより打ち出すうえで、議員・議会の役割と責務についての理解を深める取組みが求められ、議員と議会の存在意義やあり方などを議論し合う場が必要と思います。また、自治体運営は様々な法令などに準拠しており、議員・議会活動には、基礎的な法知識や法律的地見地に依る考え方などが求められ、憲法やその規定を受け自治体の組織・運営などを定めている地方自治の基本法の地方自治法などを学ぶ研修会を設け必須にすべきと思っています。

第二は、議会の「議決機能」「監視機能」「政策提案機能」に係る取組みについて、登別市議会基本条例では、三つの機能の充実に向け、議会及

び議員の活動原則の規定や政策提案及び課題提起への流れとしてのフロー図策定などに取組んでいます。しかし、議決、監視、政策提案三つの機能に係る該当案件に関して、次のことに、より一層に留意して取組むべきと思います。

その一つは、問題・課題の把握と整理や分析などの取組みでは、該当案件に関係する当事者などからの聞き取り調査は当然ですが、様々な視点からの検討が大切で、日頃から新聞や月刊誌などから知識を蓄え、それらの当市への活用の検討や、専門書などから理解を深め関連法や制度などを把握し、幅広く深掘りをしたうえでの現状把握や問題・課題及びその要因等の整理と、それらの分析力の向上に取組むことです。

二つに、問題・課題への対応策や政策提案への取組みでは、上記の取組みでもいえることですが、該当案件に対する専門的知見を有する研究者などからの助言と指導を求めるとともに、「政策形成情報」と各種オープンデータの収集とその利活用や、ロジカル・シンキングなどによる科学的、論理的な思考に留意して取組むことです。

また、議会の三つの機能に係る取組みにおいては、商品開発や地域経済の活性化などに向けた取組方法を活用できるので、マーケティング手法

やロジカル・シンキングなどの思考とノウハウの理解を深める研修も行うべきです。市民との意見交換や協働の取組みも必要かつ重要ですので、市民の意見などを活用し共有可能なことに繋がるファシリテーションやワールドカフェ、ワークショップなどのノウハウを高める取組みもすべきでしょう。

これらのいろいろな取組みや、そのノウハウを高めるための研修などは、議員個々のみならず、党派や議会による計画的な取組みが必要と考えざるを得ません。また、案件によつては、党派、委員会、議会の各組織で取組むでしょうが、議決や監視、政策提案に係る一議員の考えを提示する場合、様々な視点も加えてより良いものとするために、議員間で議論し連携を深めるシステムを考えたもよいのではないのでしょうか。

これらに留意した策定方法を慣用手段となるように、フロー図化する必要もあるのではと思います。多くのことをしたためましたが、反知性主義や大衆迎合主義などが蔓延し社会状況が混沌しつつあることの認識を持ち、議員・議会の役割と責務を果たす取組みの一端と捉えて、検討していただけばと思います。

議員という枠から外れた私は、もの見方や考え方の変化を感じるようになり、市民目線でわが街を俯瞰しながら、賞味期限もなく永遠の課題である「これでもいいのか 登別!!」に対峙し、手放された風船が空に舞い上がるように、人・まちづくりに係る学び舎的なものを興そうと考えています。

八まつやま てつお・前登別市議会議員